就職を目指すあなたと企業との橋渡しを目指す就労移行支援事業所通信

CAPress チャレアソ通信

2016
9月号

「チャレアソ通信」は、チャレンジド・アソウが発行する活動通信です。訓練の様子や障がい者をとりまく社会の動き、スタッフの声など、さまざまな視点からの情報を毎月お届けします。

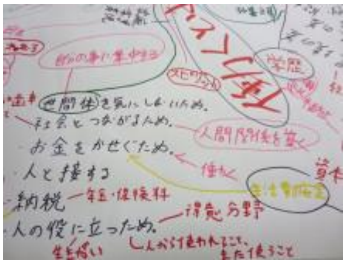
TOPIC!

働くとは？ ―ワールドカフェで考えてみる

チャレンジド・アソウでは2ヶ月に1度、特別講座を開講しています。その時の利用者に合わせて必要なカリキュラムを実施しているのですが、今回は「ワールド・カフェ」形式で『働くとは？』というテーマについて考えてみました。
「ワールド・カフェ」とは、カフェのような開放された場面において、テーブル移動をしながら数回に分けて意見交換をする、会議手法の一種。
1グループのメンバー固定で行いがちな話し合いを、複数の少人数グループでメンバーをシャッフルしながら行うことにより、新しい発想を生み出していきます。チャレンジド・アソウには、就労経験も年齢層も異なるさまざまな訓練生がいます。さまざまな考え方をもったメンバーで自由に意見交換をするシチュエーションは、発想の増幅につながりました。

前向きな意見もあれば、世知辛い意見も沢山でてきましたが、それもまた必要なことではないでしょうか。
今後も「働くとはどういうことか」「なぜ働くのか」考えなければならない場面が出てくるかもしれません。そんな時に、今日のワールド・カフェで全員が出した意見を思い出してみて欲しいと思います。

今回のワールド・カフェを実施するにあたり、各テーブルに1人ずつ「ホスト」を配置しました。
「ホスト」になった皆さんには、テーブルにやってきたメンバーをおもてなしするという役割があります。
最初のおもてなしとして、各グループの「国名」を決め、国旗を作成していただきました



Pick Up! チャレアソ納涼会

訓練生と就職者 総勢27名が集まり 懇親会を開催しました！

8月20日（土）、チャレンジド・アソウの訓練生と就職者が集まり、納涼会を開催しました。
今回は8名の就職者が参加し、計27名での懇親会となりました。
今回は「ボール運びリレー」「漢字連想ゲーム」「都道府県ビンゴ」「進化じゃんけん」「伝言ゲーム」の5種類のゲームに挑戦し、時に協力し、時に想像力を発揮しながら、5チームに分かれて優勝を目指していただきました。

結果、今回優勝したのは「太陽にほえろ！」チーム。
優勝賞品を贈呈し、笑顔で帰っていただきました。
納涼会終了後にはお菓子を食べながら、訓練生が卒業した先輩に話を聞く場面も。また、訓練生同士でも賑やかに話す様子も見られました。

チャレンジド・アソウでは今後も、訓練生と就職者が集まり交流するイベントを企画しています。

8月10日、小宮正江選手の講演会と事業所説明会を開催

リオパラリンピック出場を直前に控えた障がい者アスリート・小宮選手のメッセージ

小宮さんはチャレンジド･アソウと同じグループ社にある障がい者スポーツ選手雇用センター･シーズアスリートで働く障がい者アスリート。小学生の時、『網膜色素変性症』を発症し、現在ではコントラストのみが視覚で得られる情報だそうです。
ゴールボール女子日本代表としてロンドンパラリンピックで金メダルを獲得後、一時は現役を引退していましたが、2016年4月より復帰し、今回リオデジャネイロパラリンピックへの出場が決まりました。
チャレンジド･アソウでも、「こころとからだの健康をはぐくむカリキュラム CCフィットネス」の講師として訓練生に明るく前向きな言葉で指導している小宮さんですが、始めは視えないことによるもどかしさもたくさん感じていたそうです。

「失敗がジャンプ台。目が見えなくても、百万回やれば健常者より早くできることもある。」

講演会の中で、小宮さんはこのようなメッセージを残してくれました。
――健常者と同じように、ではなく健常者よりも早く。沢山の失敗を乗り越え、今がある小宮さんだからこそ贈れる最高のエールではないでしょうか。

9月7日より、いよいよリオデジャネイロパラリンピックが開会します。チャレンジド･アソウの社員･訓練生一同、小宮さんや日本選手団の活躍を心から祈っています。がんばれ、日本！！

事業所説明会では、特例子会社の認定を受けたチャレンジド･アソウのBPOチームで働く2名の社員にインタビューしました。

ーチャレンジド･アソウのトレーニングで学んだことが、仕事でどの様に活かされていますか
有働「業務でエクセル関数が出て来た時、『あっ、こんな場面で使うのか！』と思った時ですね。また、パソコンの検定試験に合格するため一生懸命学んだことで身につけた粘り強さも活かされていると思います。」
ー休日はどの様な事をして過ごしていますか
有働「NPO法人で、ブルーベリー栽培や竹炭作りなどを行っております。オンとオフの切り替えで仕事のモチベーションが全然違ってくるため、重要だと思っています。」
ー現在はどの様なお仕事をしていますか
中村「定例業務に加え、チャレンジド･アソウのWebサイトに掲載する写真撮影の業務を行っています。これまで3社の取材に同行しました。」
ー仕事をして一番うれしかったことはなんですか
中村「日々の中で変化を感じることは難しいですが、過去の資料を見て以前の自分と比較し、出来ることが増えていることが分かった時に喜びを感じます。」
ーお二人の現在の目標を教えてください
有働「これからも、これまで以上に確実に業務を行えるようにして、自信をつけていきたいです。新しい業務にも積極的にチャレンジしていきたいと思います。」
中村「自分に自信を持ってもっと自分のことを好きになりたいです。」

チャレンジド・アソウが気になるあなたへ！

無料 見学・体験講座受付中！

雰囲気はどんな感じ？
詳しい内容が知りたい！
実際に体験してみたい！

チャレンジド・アソウでは随時、見学・体験を受け付けております。まずはお気軽にお問い合わせください。

※見学・体験は、ご希望日の前日までにご予約ください。

ご利用までの流れ

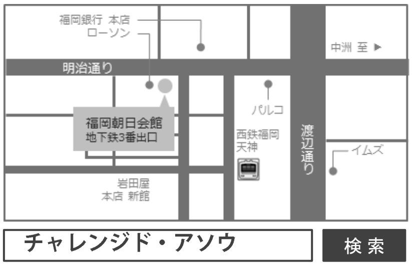
見学
↓
体験
↓
個別面談
↓
受給者証申請・発行
↓
利用開始

お問合せ

CHALLENGED ASO

対　象　：精神障がい、知的障がい、身体障がいの方
内　容　：障がい者の一般就労を支援する訓練事業所
利用期間：2年間（上限）
利 用 料　：障害者総合支援法の定める利用者負担額

TEL：092-752-0500
E-Mail：challenged-aso@ahc-net.co.jp
HP　：http://challenged.ahc-net.co.jp/
福岡市中央区天神2-8-41 福岡朝日会館12階



チャレンジド・アソウ　検索

QRコードからWebサイトにアクセス！